

持参薬確認により重複投与を回避した例

プレアボイドとは薬学的ケアから患者の不利益（副作用、相互作用、治療効果不十分など）を回避あるいは軽減した事例を意味します。今回は、患者の持参薬と、入院後に内服開始予定であった薬剤との重複を回避した事例を紹介いたします。

患者背景

・肝切除術目的で入院した患者。持参薬確認を行うため訪室し、ネキシウムカプセル 20mg を定期内服していることを聴取した。

【クリニカルパス】

ランソプラゾール OD 錠 30mg 「サワイ」 1錠 朝食後



Aさん

Aさん、こんにちは。
今飲んでいるお薬を確認しにきました。
お薬を見せてもらえますか？



今飲んでいるお薬は、〇〇と、△△と、
ネキシウムカプセル 20mgです。
毎日きちんと飲んでますよ。

わかりました。



Aさんの飲み薬ですが、ネキシウムカプセル 20mgを定期内服しているようです。
クリニカルパスで、すでにランソプラゾール OD 錠 30mgが処方されているのですが、ネキシウム 20mgと同じ薬効のお薬になります。
内服はどちらか一つがいいと思います。



医師

そうですか。
では、クリニカルパスで処方しているランソプラゾール OD 錠 30mg
を中止しましょう。
情報提供ありがとうございます。

ランソプラゾール OD 錠 30mg は中止され、同効薬の重複投与を回避することができた。
適切な薬物治療に貢献できた。